

技術科の実践

教科担当者 都志見 賢治

1 めざす生徒像

- (1) お互いに支え合い学び合いながら、技術の知識や技能の習得をめざす生徒

2 研究内容と実践例

- (1) 研究内容 より

ペア・グループ学習活動の効果的な取入

ペア・グループでの意見交換の場や、協力して問題解決に向かえる学習活動を積極的に取り入れることにより、多様な価値観や感じ方にふれ、お互いのよさを認め合いながら自らの学びを深めることができるようにする。特に作業学習では自分の作品のみに固執するのではなく、「30人で30の作品を作る」を合い言葉に、協力し合うことで、お互いに高め合うことができるということを実感させる。

- (2) 研究内容 より

個に応じたきめ細かな支援・指導の推進

TTによる授業が実施可能な場合、T1が全体指導をしている間にT2が進度の遅れた生徒やつまずいた生徒のフォローに回る。

生徒の興味・関心を高める指導内容の工夫改善

導入時に生徒の視覚、聴覚、触覚などに訴えるものとして、その授業の課題を具体的にイメージするのに役立つものを効果的に提示する。

3 成果と課題

- (1) 実習では制作や作業の進んでいる生徒が、遅れている生徒のフォローに回るような取り組みを進めてきた。その結果、自分から進んで手助けをする生徒も出始めたが、すべての生徒へは広がっていない。自分からあたりを見回し、自発的にフォローを入れるような姿をめざしていきたい。
- (2) 1年生のパソコン授業においては、課題を完成させ提出し終えた生徒は、アドバイザーとして、他の生徒へのフォローをするという取り組みを行った。その結果、普段は取組に消極的だった生徒が、一人の友だちからの「ありがとう」という言葉によって、次々と他の生徒のフォロー役にまわる姿があった。またアドバイザーの生徒や教えてもらった生徒ともに、授業後の感想には、協力することへの肯定的な意見があった。このような取り組みが他の授業場面・教材でどのよう

に活用できるかを今後の課題にしていきたい。

(3) 2 学期末、1 年生 (7 7 名) において授業についてのアンケートを実施した。
項目は以下の 5 点。

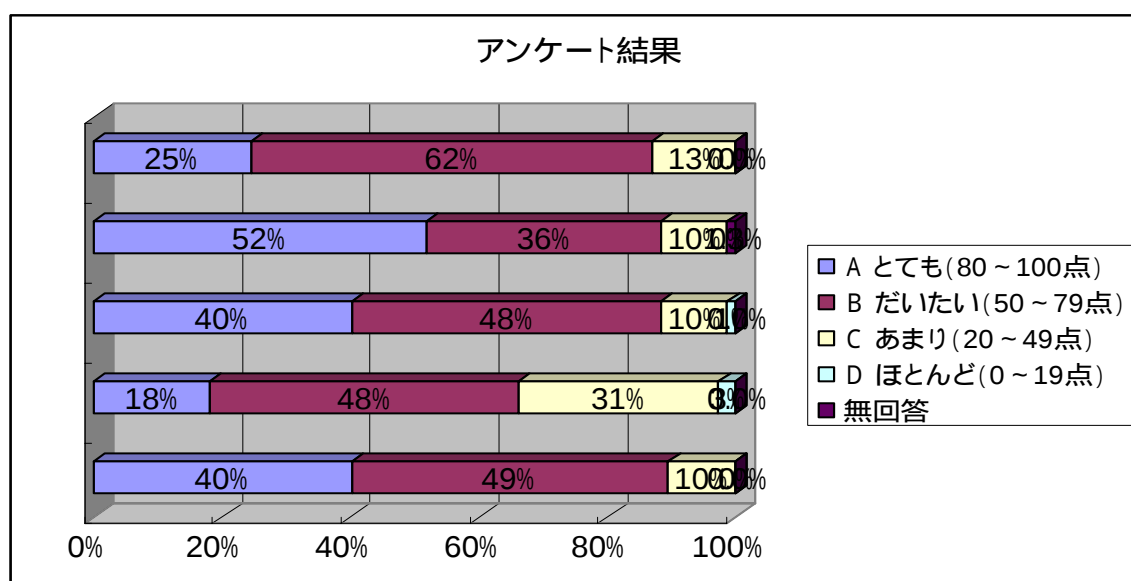
説明はわかりやすいもので、内容はよく理解できましたか。

適切なアドバイスが受けられましたか。

活動の時間はたっぷりありますか。

自由に発表でき、活動しやすい雰囲気になっていきますか。

自分の「技術」が向上したと思える学期でしたか。



授業での説明のわかりやすさについて「とても」と回答した生徒は 25%、1 年生にとって慣れていないパソコンの授業は一度の説明では十分には満足できていないようであるが、適切なアドバイスを受けられたかについて「とても」の回答は 52% と半数の生徒が満足できている。教員だけで半数の生徒に個別にアドバイスを送ることは難しいので、ここではペア学習活動やアドバイザーによる教え合いの効果があったと考えられる。自由に発表でき、活動しやすい雰囲気については「あまり」と回答した生徒は 31% と他の項目に比べ突出している。このことより活動・発表しやすい雰囲気づくりやペア学習活動・アドバイザー制度の取り入れ方や取り入れる際の約束ごとなどの環境づくり、授業規律等の環境づくりについても取り組んでいきたい。